

<指導者の皆様へ>

日頃の指導、たいへんありがとうございます。多くの方は、ボランティアで活動してくださっていることに、改めて敬意を表します。指導の基本は、「プレーヤーズセンタード」であると思います。選手の年齢が低くなるほど指導は簡単にいかないことが多いと思いますが、選手がどんな夢や思いを描いているのかを共有しながら、指導にあたってほしいと思います。体罰やハラスメントは、決して許されません。指導が思いどおりにいかないこともあるかと思いますが、技能が上達した時や試合に勝ったときの選手の笑顔は、指導者冥利に尽きるものです。選手の将来のために、これからもご指導よろしく願いいたします。

<選手の皆様へ>

毎日の練習、頑張ってますね。上手になるためには時間がかかることもありますから、粘り強く練習していきましょう。日頃一緒に練習している仲間や、指導してくださっている指導者の方々、そして、毎日励ましてくれる保護者の方に「感謝」の気持ちをもちましょう。卓球は一人ではできません。いろいろな人が支えてくれているから卓球できることに感謝してほしいと思います。また、強くなるだけでなく、一人の人間としてのマナーを身に付け、実践しましょう。あいさつ、時間を守る、ルールや約束を守る等は、とても大切なことです。強く、そして、立派な選手になることを期待しています。

<保護者の皆様へ>

毎日、お子様の練習を支え、励ましてくださりありがとうございます。大会だけでなく、普段の練習で送迎しているケースもあると思います。お子様の夢を実現させるためとはいえ、頭が下がります。選手は順調に上達、向上するときばかりではありません。選手のことを誰よりも分かっている保護者の方の支えが必要です。チームの保護者や指導者とともに「対話」を重ねて、選手の気持ちを支えてほしいと思います。他競技では、SNSによる情報拡散が話題になりましたが、正しくないことも拡散されていることはご存じのことと思います。大人の対応として、「対話」によってよりよい方向に進めていけるようお願いいたします。